

群馬大学創基150周年記念事業

寄附金趣意書



国立大学法人 群馬大学
National University Corporation GUNMA UNIVERSITY



群馬大学創基 150 周年記念事業
(食健康科学に関する新たなオープンイノベーション施設の建設)
寄附金趣意書

群馬大学は令和 5 年(2023 年)、本学の前身である「小学校教員伝習所」設立から、創基 150 年を迎えました。これを機として、「駆けろ未来へ 150 年の歴史と共に」をキャッチコピーに、本学は改めて全学が一体となり、新たな価値を創造する教育・研究を進める必要があると考え、その拠点を整備することとしました。

「小学校教員伝習所」が開設された明治 6 年(1873 年)は、日本が近代国家へと生まれ変わろうとしている時でした。明治 4 年(1871 年)に文部省が設置され、明治 5 年(1872 年)に全国規模としては初の近代教育法令である「学制」が公布されました。「学制」は身分の区別無く全ての国民が教育を受けられる学校を全国に設置するもので、群馬の地では、その学校を運営する教員の養成が急務となり、「小学校教員伝習所」が設立されました。その後、大正 4 年(1915 年)に「桐生高等染織学校」、昭和 18 年(1943 年)に「前橋医学専門学校」が設立され、これら 3 校を継承する学校を包括して、昭和 24 年(1949 年)に群馬大学が誕生し、今日まで群馬県の教育、産業、医療を支えてきました。

さて、今、未来に向けて群馬大学が掲げるのは食健康科学によるイノベーションの創出です。食健康科学とは、群馬大学が得意とする食品科学、食品生産工学、医科学、保健学を基盤とした、世界に先駆ける新たなサイエンスであり、人・社会・地球が「健康」に発展を続けるためのサイエンスでもあります。群馬県は農畜産業が盛んで、大消費地の首都圏と近接し、食品産業が県内の製造品出荷額の 2 番目に位置しているなど、食品産業は地域にとって重要な産業分野の一つとなっています。群馬大学は総力を挙げて食健康科学の研究を推進し、高付加価値食品の開発により群馬県の地域産業として重要な食品産業に貢献するとともに、環境負荷の少ない食品生産・食品パッケージ、健康長寿や病気の予防に資する生活習慣、働く女性のヘルスケアなどを科学的なエビデンスベースで提案します。地域の食品加工産業、健康関連産業の振興や健康維持政策の推進、そしてその原動力となる食健康科学に精通した高度人材の育成にも貢献していきます。このような研究開発は群馬大学単独でできるものではなく、産業界や地域の自治体、市民の方々との共創が不可欠です。そのためのオープ

ンイノベーション施設を荒牧キャンパスに整備し、多くの人が集う食健康科学イノベーションの一大拠点といたします。

国立大学は平成 16 年（2004 年）の法人化以降、厳しい競争環境に置かれ、さらに、少子化が劇的に進み、強弱の二極化の方向に進んでいます。群馬大学がこの困難の時代を乗り越え、更なる発展を遂げ、地域・社会に貢献していくためには教育力・研究力の基盤となる施設の建設が不可欠です。荒牧キャンパスに学内外の研究者が集い、その成果を地域・社会に還元する新たなオープンイノベーション施設の建設に、皆様の御賛同を頂くとともに、格別の御支援を賜りたく、お願い申し上げます。

謹白

令和 5 年 11 月吉日

国立大学法人群馬大学学長

石崎 泰樹

群馬大学同窓会連合会会長

医学部医学科同窓会刀城クラブ会長

白倉 賢二

群馬大学同窓会連合会副会長

共同教育学部同窓会会長

清水 和夫

群馬大学同窓会連合副会長

情報学部同窓会会長

田村 一志

群馬大学同窓会連合会副会長

医学部保健学科同窓会・紫水クラブ会長

山路 雄彦

群馬大学同窓会連合副会長

工業会(理工学部同窓会)理事長

小松原 健夫

寄付金募集要項

1. **目標金額** 5億円（建設費の一部）

2. **使途** 施設建設費
その他関連経費

3. **期間** 目標金額達成まで（予定）

4. **金額** 1,000円以上

別添の専用用紙でお振り込みの場合、振込手数料は大学で負担します。

また、一度しか寄附できないものでもありませんので、繰り返し御寄附いただけるのであれば、大変ありがたいと存じます。

5. お申込み方法

(1) 書面によるお申込み：別添

(2) インターネットによるお申込み：

<https://kikin.gunma-u.ac.jp/html/method.html>

< 寄附目的は「創基150周年記念事業」を御選択ください >



お申込み方法について御不明な点がございましたら
「8. 御連絡・お問合せ先」まで御連絡をください。

6. 寄附金に対する税制上の優遇措置

群馬大学基金への御寄附については、税制上の優遇措置が受けられます。詳細は別添を御参照ください。

7. その他

御賛同をいただきました場合には、下記の謝意を申し上げます。

(1) 群馬大学基金ホームページに御芳名を掲載し、末永く本学の歴史に刻まさせていただきます。なお、掲載に御承諾いただいた方のみ掲載となります。

- (2) 50 万円以上の御寄附をいただいた方に、感謝状を贈呈させていただきます。また、群馬大学内に設置する「群馬大学基金寄附者銘板」に御芳名を記し、末永く顕彰させていただきます。(上記と同じく、御承諾いただいた方のみ)
- (3) 御寄附をいただいた金額に応じて、群馬大学オリジナルグッズを贈呈させていただきます。

8. 御連絡・お問合せ先

国立大学法人群馬大学 総務部総務課基金係
〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目 2 番地
TEL : 027-220-7018
Email : kikin@jimu.gunma-u.ac.jp
URL : <https://kikin.gunma-u.ac.jp/>

群馬大学は“食健康科学”を基軸に ヘルスプロモーションを推進します

～ 群馬大学の知の結集による人類と地球の持続的な幸福の実現に向けて～

健康で幸福な未来社会を実現

地域・地球の課題を解決

エンバイロメンタル
ヘルス

ソーシャル
ヘルス

ヒューマン
ヘルス

食健康科学
群馬大学の知を結集



新たな産業の創出 (エンバイロメンタルヘルス)

- 生分解性プラスチックを使った食品パッケージの開発
→海洋プラスチックごみ問題を解決

健康長寿社会の実現 女性の活躍推進 (ソーシャルヘルス)

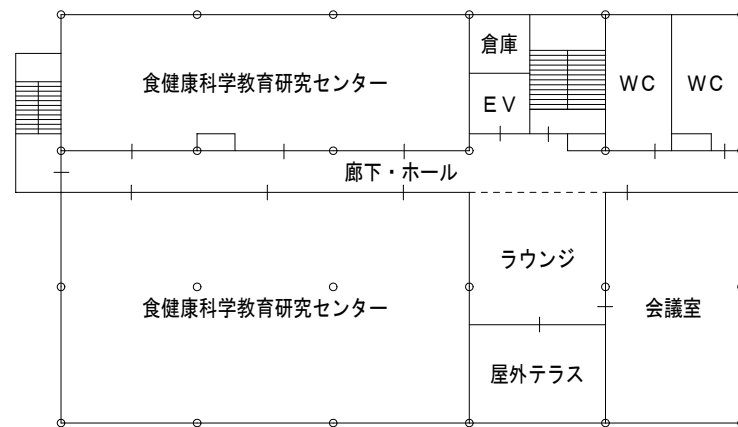
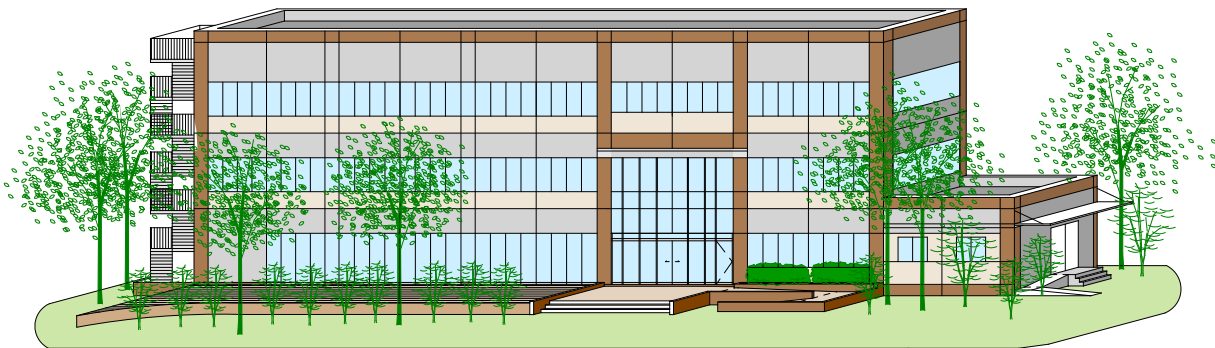
- 保健ビッグデータの解析
→生活習慣病、認知症、フレイルの発症リスク因子の特定
- 働く女性の食習慣に関する疫学研究
→大豆などの日本食の健康効果を科学的に証明&女性がさらに健康で活躍する社会へ

食による健康の維持・増進 (ヒューマンヘルス)

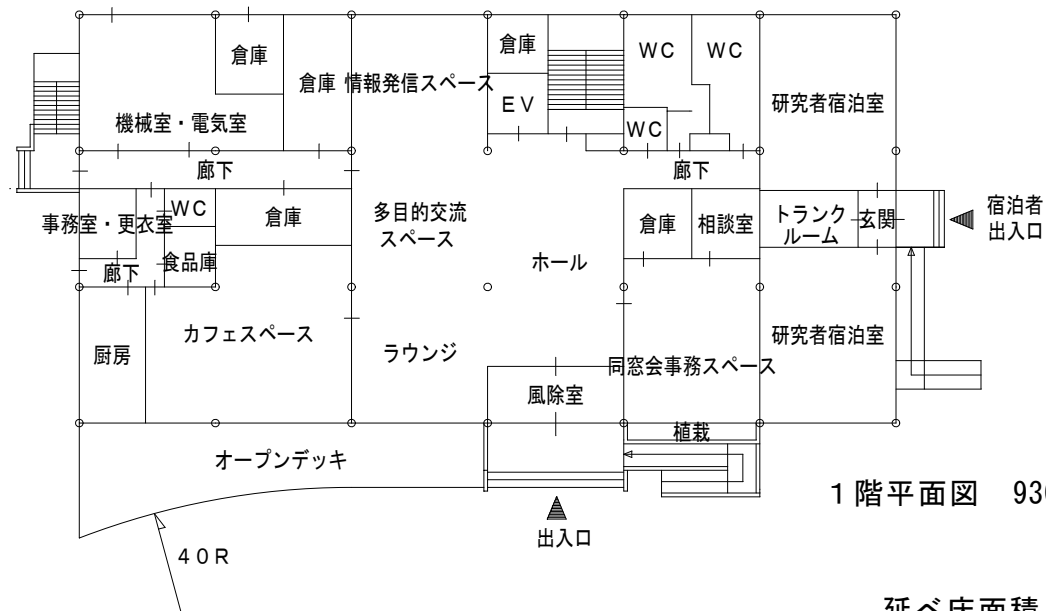
- 糖尿病・高血圧症・脂質異常症の発症機構の研究
- 腸内細菌叢の解析
→食生活による生活習慣病の新しい予防法の提案

食健康科学に関する新たなオープンイノベーション施設

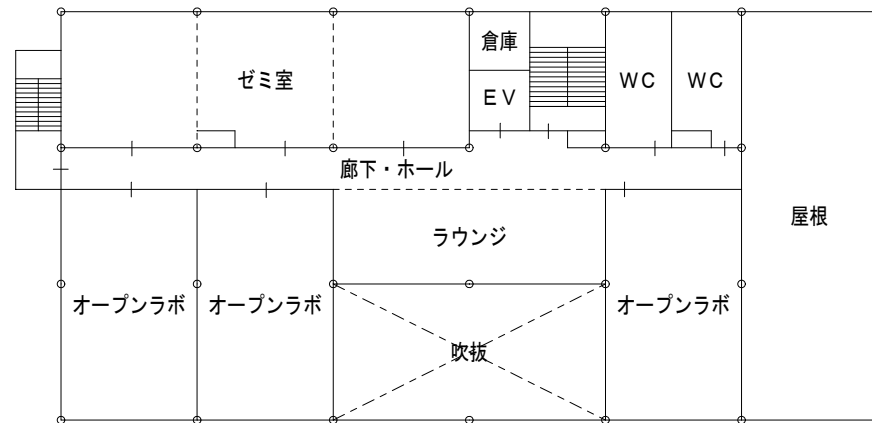
オープンイノベーション施設とは、学内外の様々なステークホルダーがオープンに交流し、研究開発の活性化を図る施設。群馬大学の基礎研究力、産業界が持つ社会実装力、自治体の課題把握・調整能力を融合することで、それぞれ単独では実現できないインパクトの高い研究開発が可能になる。



3階平面図 740㎡



1階平面図 930㎡



2階平面図 670㎡

延べ床面積 2,340㎡



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY